

<b>保育理念</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもは豊かに伸びてゆく可能性をその内に秘めている。子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うこと。</li> <li>未来ある子どもたちが、より人間らしく心豊かに育つための環境作りをし、基本的な生活習慣や態度を養い、恵まれた自然、地域の特性を生かし、人々との関わりの中で人と協調し、人を思いやる心、感動する心を育て、たくましく生きる為の体力作りを目指す。</li> </ul>											
<b>保育方針</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な要求を適切に満たし、生命の保持、及び情緒の安定を図るものであること</li> <li>一人ひとりの子どもの発達段階を理解し、援助する</li> <li>子どもの自発性を大切にし、興味や欲求を生かし、生活経験に即した総合的な保育をする</li> </ul>		<b>保育目標</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を大切にし、人の気持ちを大切に出来る子ども</li> <li>心身ともにたくましく、みんなと元気に遊べる子ども</li> <li>思っている事をはっきり言える子ども</li> <li>自分の持っている力を出し、最後までやり遂げる子ども</li> <li>美しいもの、優しいものに感動する子ども</li> </ul>							
<b>★発達過程とクラスの相関性</b> 0, 1, 2歳児は横割り保育、3歳以上児は縦割り保育で園生活を送る。保育指針の8つの発達段階を前提に年間指導計画がなされている。また、一人ひとりの成長段階を踏まえ、養護と教育が一体となり保育が展開される。		<b>★基本的社会的責任</b> 適切な法人施設運営・人権尊重・保育の説明責任・個人情報保護・苦情処理解決・情報提供 <b>★小学校との連携</b> ・行事への案内状送付 ・参観日への参加 ・保小連絡会 ・保育所児童保育要録の送付 ・1年生との交流会		<b>★地域の実態に対応した事業、行事</b> ・山本校区コミュニティ主催行事参加 ・耳納山麓の自然を生かし、活用した保育		<b>★保育時間</b> 通常保育：7～18時 延長保育：18～19時 ☆主な行事 入園式・誕生会・1年生との交流会・保育参加・七夕の集い・お泊りキャンプ・地域高齢者施設での交流会・運動会・親子バス遠足・クリスマス遊戯会・祖父母としめ縄作り・もちつき・差義長・豆まき・音楽会・お茶会・お別れ遠足・卒園式							
<b>子どもの保育目標</b>		<b>0歳児</b> 生理的欲求を満たし、一人ひとりの生活リズムを大切にする	<b>1歳児</b> 自分のしたいことを見つけ、体を十分に動かして遊ぶ	<b>2歳児</b> 友だちと遊ぶ楽しさを味わい、自分の好きな活動に集中して遊ぶ	<b>3歳児</b> 異年齢児と一緒に生活することを喜び、楽しさを味わう	<b>4歳児</b> 体を思い切り動かし、みんなで遊ぶ楽しさを味わいながら挑戦する力を養う	<b>5歳児</b> 集団活動の中で意欲的に活動し、仲間との協力や工夫をする						
<b>保育の内容</b>													
		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
養護	生命の保持	一人ひとりの健康状態を把握し、安心できる環境の中、授乳や睡眠などの生活リズムが整うようにする		一人ひとりの健康状態を把握し、適切な生活リズムで生活できるようにしながら、子どもの興味や広がりように関わる		一人ひとりの健康状態を把握し、子どもの自分でやりたいという気持ちを大切に		基本的な生活習慣の確立や、一人ひとりの健康状態を把握し、快適に生活できるようにする		保健的で安全な環境を作り、気候や活動に応じた生活が出来るようにする		安全な環境作りと事故防止、発達に応じた適切な運動が出来るようにする	
	情緒の安定	自分が受け入れられているという気持ちを育めるよう、生理的、精神的欲求を満たし、安心して過ごせるようにする		一人ひとりの生活リズムを大切に、安心できる関わりの中で、自分の気持ちを表すことが出来るようにする		保育士との信頼関係を深め、自我の芽生え、育ちを認めてもらうことで安心して自分の気持ちを表す事ができるようにする		保育士、友だちとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことが出来るようにする		様々な経験の中で自分を発揮できるようにし、一人ひとり達成感を味わえるようにする		他者から自分の存在を認めもらうことの喜びを感じ、自信となるように関わり、達成感、充実感を味わえるようにする	
教育	健康	寝返り、腹ばい、ハイハイ、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなどの移動運動や、探索活動を十分に楽しむ		動きが活発になり、探索活動が盛んになると同時に、手指機能が発達してくる		基本的な運動機能を生かし、身体を使った遊びを楽しむ ・生活習慣の自立を目指す		基本的な生活(食事、衣服の着脱、排泄など)を自分でしようとする		基本的な生活習慣の自立が出来る全身運動がたくましくなる		基本的な生活習慣が身に付き、考えて行動出来るようになる	
	人間関係	保育士との関わりの中で、情緒的な絆が形成され、安心して過ごす		大人との関わりだけでなく、友だちへの関心をもち、興味を持って一緒に過ごしたり、遊んだりする		自己主張が増え、思い通りにならない中で、約束や順番があることを知る		園生活の決まりを知り、異年齢児と関わったり、同じ場を共有して遊んだりする		ルールを守っているいろいろな遊びをしたり、仲間といることの喜び、楽しさを味わう ・色々な文化の人に関わる		異年齢や友だちとの関わりを深め、協力や相談、感謝などの気持ちを持つ ・異文化を持った人にも親しみをもって関わる	
	環境	安心できる人的、物的環境の中で、興味を持って関わり、様々な運動や遊びを楽しむ		興味や関心を広げて、豊かな感性を育むため、いろいろな物を見たり、触れたりすることを楽しむ		戸外に出て、季節の草花や昆虫に親しむ		色々なことに興味を示し、自分から取り組み、探究する ・道具の正しい使い方を知る(箸、ハサミなど)		園や地域の行事に喜んで参加する文字や数字に興味を持ち、生活や遊びに取り入れようとする		働くことを知り、その役割や大切さを知り、感謝の気持ちを持つ ・公共の場でのマナーを知り、守る	
	言葉	保育士との応答的な関わりやスキンシップにより、喃語を発したり、笑ったりする		保育士とのやり取りや話しかけ、絵本の読み聞かせの中で言葉を理解し、使うことを楽しむ		生活や遊びの中で、簡単な言葉でのやり取りを楽しむ		生活に必要な言葉(あいさつ、返事)がある程度分かり、使う ・話を聞いて欲しがる		経験したことや思っている事を話したり、友だちの話話を聞いたりして、言葉で伝える楽しさを味わう		人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりしながら、言葉への興味を広げる	
	表現	笑ったり泣いたりなどの表現で欲求を表し、保育士とのやりとりを楽しむ		欲求を指差しや表情で伝えようとする ・小麦粉粘土の感触やなぐり書きを楽しむ		大人と一緒にごっこ遊びを楽しんだり、模倣したりする ・水、砂、土の感触を楽しむ		身の回りの色、形、手触りなどに気付き興味を持ったり、出来た形に名前や意味付けしたりして楽しむ		集団遊びの楽しさが分かり、友だちと遊ぶ		自分の中のイメージを膨らませて、絵を描いたり、作ったり、演じたりする	
食育	食を営む力の基礎	色々な食材に慣れる ・個々の発達に合わせて離乳食を進める		色々な食材に慣れ、食べることに興味を持つ ・食事を楽しみ、食べる意欲を育て		色々な食材を知り、その味に親しむ ・食材に興味を持ち、食べることの楽しさを知る		自分たちが育てた野菜に親しみ、食べる意欲を持つ ・食べ物の大切さを感じる事が出来る		自分たちが育てた野菜に興味を持ち、楽しく食べる ・野菜の成長を喜ぶことが出来る		野菜を育てる大変さや楽しさ、収穫の喜びを感じる ・食べることの楽しさや大切さが分かる	
<b>健康支援</b>		・健康、発育発達状態の把握 ・心身状態や家庭生活、養育状態の把握 ・年間保健指導計画 ・身体計測(毎月) ・委託医による内科、歯科検診(年2回) ・職員の健康診断(年1回)						<b>研修計画</b>	・園外研修 ・園内研修(保育内容など) ・研修報告会 ・自己研鑽の自主研修				
<b>環境・衛生管理</b>		・施設内外の点検(毎朝) ・設備、用具などの安全管理及び点検(月1回) ・さよふ虫検査(年1回)、床検査(年2回) ・職員の検便 ・保育室の消毒(年2回) ・給食室の消毒(毎月) ・園庭樹木の消毒(年2回)						<b>特色ある保育</b>	・堆肥作り ・野菜栽培、畑作り ・和太鼓 ・老人ホーム訪問(年2回) ・他園との交流 ・食育 ・自然を生かした保育(園外保育、谷川遊び) ・異文化交流(英会話)				
<b>安全対策事故防止</b>		・毎月の避難訓練(火災、地震、水難、不審者対応)を実施 ・交通安全教室 ・消防点検、消火訓練						<b>町への行事参加</b>	・校区文化祭(和太鼓) ・校区敬老会 ・屏水フェスタ(人権ポスター、和太鼓)				
<b>保護者・地域への支援</b>		・育児相談 ・育児講座 ・実習生、職場体験の受け入れ ・一時預かり ・延長保育 ・保育参加 ・園庭開放 ・世代間交流(祖父母との交流) ・勤労感謝デー						<b>自己評価</b>	・日誌、週案、月案を利用して子どもと保育士の自己チェックの実施				